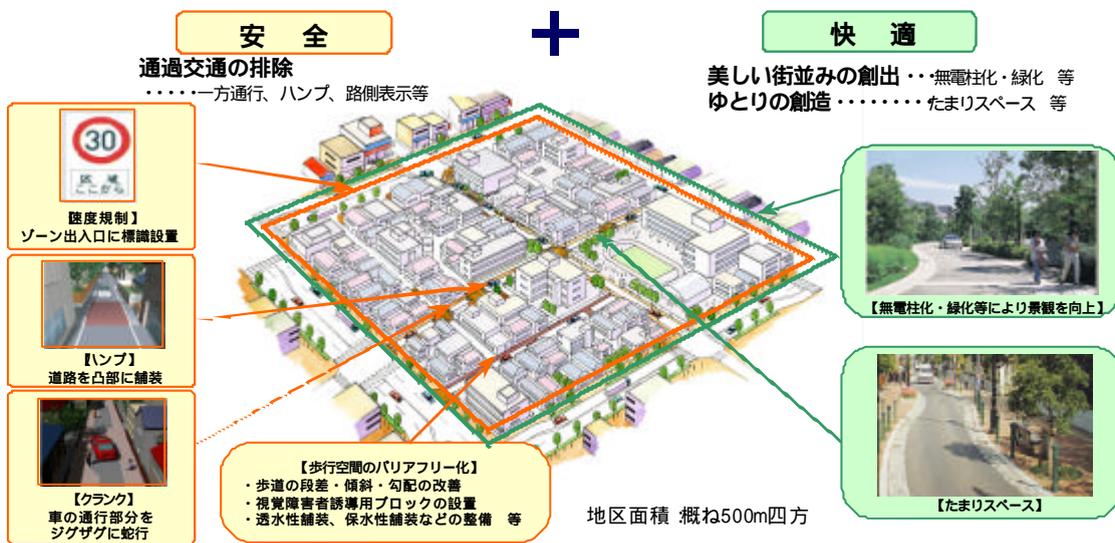


くらしのみちゾーン・トランジットモールの概要

くらしのみちゾーン

外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地の街区などにおいて、一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取り組みです。

具体的には、ゾーンの入口・出口に速度規制標識を設置したり、クランク、ハンプ等により車の速度低減を図ることにより、身近な道路を車より歩行者・自転車を優先し、安全な交通環境を形成します。さらに、たまりスペースの確保や無電柱化、沿道緑化、バリアフリー化を進め、快適な生活環境を形成します。



トランジットモール

中心市街地のメインストリート等で一般車両の利用を制限して、道路を歩行者・自転車とバスや路面電車などの公共交通機関に開放し、街のにぎわいを創出しようとする取り組みです。

トランジットモール内では、歩行者は自動車を気にせず安心して買物を楽しむことができるとともに、バスや路面電車などの公共交通機関が歩行者の移動を補助する役割を果たします。さらに、高齢者や子供、身障者など、自動車を利用できない人々も安心して中心市街地に来ることができるようになります。

【ドイツ・フライブルグ市の実施例】



【中縄県那覇市の社会実験の様子】

